
魂でミュージック

亜威羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魂でミュージック

【Nコード】

N5105Z

【作者名】

亜威羅

【あらすじ】

平和な日常に飽きて平凡な人生を歩んでいる人間、天主堂響。

自分と分かち合える人間を探す悪魔、レオン。

そんな2人が出会い求める者とは何か…

今、ここに人間と悪魔の“感情”という物語が始まろうとしている

…

第1曲 「日常」(前書き)

この作品はなんというか…あー…ネバネバしているアクションファンタジーです、それでも良かったら評価しながら観覧して下さい！

第1曲 「日常」

「…つまんねえ…」なんで、ここの世の中はつまんないんだろう…
いつもそう思う…だって、考えてみる？

今日も、冬だが少し暖かく天気が良い…そして、小鳥が楽しそうに
ピヨピヨと鳴いている…

そして、窓側の向こうの世界には子供達ガキどもがギャーギャー馬鹿みたい
に喋りまくって登校してる…

実に、平和だと俺は思う…いや、俺にとっては“平和過ぎる”と
言った方が正解だろうか…？

けど、それに答える奴は居ないし、考える奴も居ない…やはりつま
らない…

別に、世の中が嫌いという訳じゃない、ただ単純に言っておけば、
“面白くない”、“つまんない”んだ
よ…

この、平和な日常をひっくり返るほどの出来事が起こってほしい…
…無理だろうな…そんな出来事が起こるとしても俺とは無縁なんだ
から…

そんなくだらない事を考え俺は学校に行こうと思えば家から出て行っ
た…

ててく、ててくと歩いて学校の門が見えそうになった所で…

「っよ、響おはよう！！」

俺の数少ない友人の1人、拓也たくやが満面の笑みで俺に話しかけてきた。

「ああ、おはよう……お前、なんかあったのか？」

「何故、俺が落ち込んでいると分かった？！…ハハ、ン、もしかしてお前は…超能力者だったのか？！そうか、そうだったのか！！いや…オレも薄々と分かってたんだよな…ツフ…流石俺様…」

拓也はそんな馬鹿な事を言っけてキリツつとキメ顔を決めていた…

「いや、違うから、少しは頭を使え、馬鹿拓也」

皮肉を込めてたっぷり言っけて拓也は一瞬にしてブルーの雰囲気につつまれた。

「なんだ…違うのかよ…つまんねえの…ってか、何で俺が何かあったって思っただんだ？読心術？」

だから、お前は馬鹿なんだよ

「ちげえよ、お前にしては珍しく死にそうな顔をしてたからだよ」

「あ、成る程…って俺そんな顔してた？」

「してた」

「…響・俺の話を聞いてくれるか…？」

「なんだよ？」

どうせ、またあーだ、こーだとかそんな話だろ…そう思いながらも俺は耳を傾けてた。

「…今度の期末で60番以内にはいんねえと母さんに俺の嫁を捨てられるんだよ！！60番以内？ツハ、無理に決まっているだろ！！母さんのバーカ！！」

「…自業自得だろ…？ていうか何だよ？俺の嫁って？」

「俺の嫁を知らないのか？…天才響も俺の嫁を知らないとは…俺の勝ちだな…」

「いや、誰も知らないと思うけどさ…」

「一体、こいつは何故こうオタクになってしまったんだ…」

「不思議でしょうがないよ…」

「いつとくけど、それに俺は天才じゃねえからな？」

「いやいや！！だってお前さ、いつも期末で5番以内に入ってるじゃないか！！」

「それは勉強してるからだよ」

「うっそだ…俺だって勉強してるけどよ、全然点とれねえもん」

「それは、お前の勉強法が悪いんだよ」

ケラケラと俺は笑って拓也と一緒に学校の玄関へと進んだ。

こうして俺は何も変わらない平凡な日常が始まった…

第1曲 「日常」 (後書き)

皆様、初めましてあいら亜威羅です!!

この度は「魂でミュージック」を観覧して下さいありがとうございます!!
います!!

というか、観覧している人とかいるのか…俺の作品で…

っと、まあこれは置いときましょう!

この作品…実はというと…まあなんというのでしょうか…?

小学校時代に作った作品で…今、それを元に作っていると…

昔よりかは文才が0.007上がったので投稿させて貰いました!

!(キリッ)

それと、この主人公の友人拓也君は僕だと思ってくださいww

いや、なんか僕と同士なのd)(以下略

オフォッフ…すみません;

こんな、気持ち悪いネバネバした作品を見て下さってありがとうございます!!
ざいます!!

心の底から感謝しております!

本当にありがとうございます…！（土下座）

出来たら評価お願いします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5105z/>

魂でミュージック

2011年12月17日12時03分発行